

北海道森林管理局における人工林の資源量と 今後の木材供給量の見通しについて

世界有数の森林国といわれている日本。その国土面積の約7割は森林です。そして、森林の約3割にあたる約758万ヘクタールが「国有林」です。国有林野は全国各地に広がっており、その多くは奥地の急峻な山地や水源地域にあって、良質な水の供給、土砂災害の防止・軽減、地球温暖化の防止、生物多様性の保全など私たちが生活していくうえで大変重要な働きをしています。



溪畔林

(石狩森林管理署管内)

このように国有林野が公益的機能の維持増進のための役割を担う一方、日本における林産業の発展に寄与するため、国有林における林産物を持続的かつ計画的に供給していくことも重要な役割となっています。

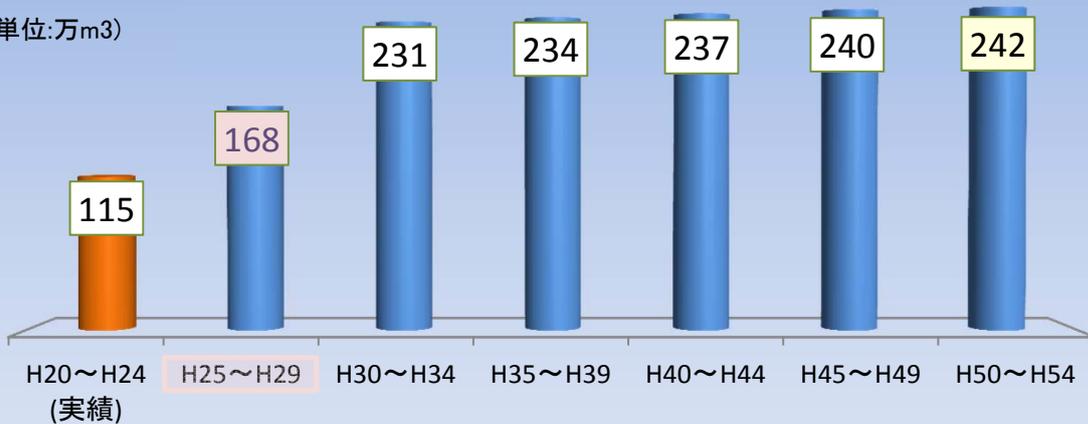
このため北海道森林管理局では、北海道の国有林における今後の木材供給量の見通しを推計してみました。(図1)
このグラフの数値は、1年間の伐採量の5年ごとの平均値を表しており、オレシジ色は実績値、青色は、平成23年度の林政審国有林野部会データをもとに、伐採計画量を推計した見込み値となっています。

北海道国有林の人工林は本格的な主伐期へ入ることとなります。また資源構成は、図2に示すとおり、30年生〜60年生付近に極端に集中していることから、今後主伐を計画的に行い、時間をかけて齢級構成の平準化を図っていく必要があります。

こうした状況を背景に、今後の伐採量の見通しは、平成25〜29年の年間計画伐採量168万m³に対し、将来的には、年間240万m³にまで増加させていく必要があると見通しています。

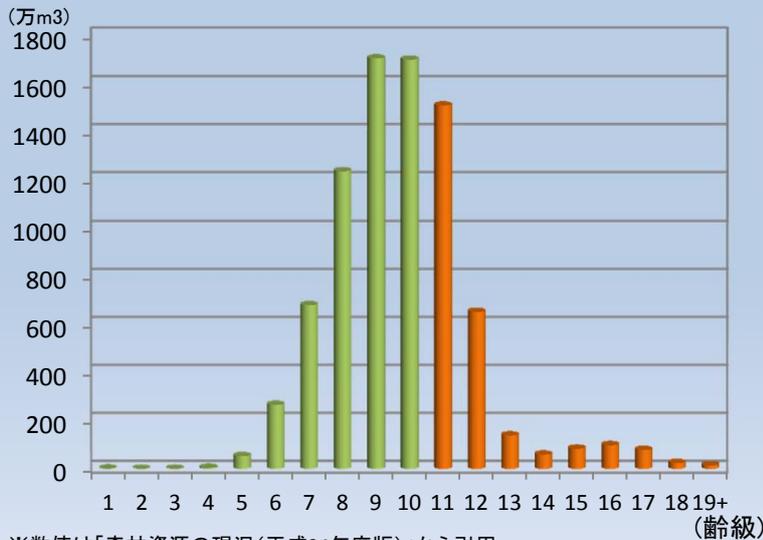
図1 北海道森林管理局における木材供給量の見通し

(単位:万m³)



※それぞれの数値は、各期間ごとの年平均値を表しており、H20~H24は実績値（国有林野事業統計書）、それ以降は林政審国有林野部会（H23.5.20「今後の収穫量の見通し」）をもとに、現行の伐採計画量や、人工林資源状況を勘案し推計した見込み値。

図2 現在の人工林資源の樹齢級別配置（資源量）



※数値は「森林資源の現況(平成24年度版)」から引用
 ※50年生を超えた(11年齢級以上)あたりから主伐期へと入る(オレンジ色の部分)

一方、北海道の国有林における資源量は、表1のとおりです。この表は、平成18年度～28年度までの各年度の人工林及び天然林別の蓄積量とともに、最下行に、各年度の伐採量を示しています。
 更に各蓄積量の下に、人工林と天然林それぞれの年平均の蓄積増加量について、平成18年度～22年度、

23年度～27年度に分けて記載しています。
 この表からみると、平成23年度から27年度の年平均蓄積の増加量は人工林だけでも298万m³ずつ増加している状況であり、今後平成30年度以降の年平均伐採量が最大となる242万m³を上回っている状況ですが、先に説明したとおり、現在の偏った年齢構成を改善していかなければ、人工林全体が高齢化し、将来的には成長量が極端に下がってしまうことが危惧されます。
 日本の林業は現在、担い手不足等難しい課題がありますが、北海道森林管理局としては、これらの課題への対策の一つとして、北海道国有林には人工林を中心として将来にわたって安定的に木材を供給できる資源量があることを事業体の皆様にお知らせし、木材の生産・流通体制の整備に取り組んでいただけるよう努めていきたいと考えています。
 これからも、国有林は森林の多面的な機能の維持増進や国有林との連携、林業の低コスト化に向けた技術開発等により国有林の経営支援に取り組むなど、日本の森林・林業再生へ貢献していくよう努めて参ります。

表1 北海道におけるH18～H28年度の国有林蓄積と伐採実績の推移

(単位:万m³)

	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
人工林蓄積	6,266	6,439	6,527	6,858	6,930	7,197	7,423	7,719	8,067	8,235	8,689
	H18～H22 年平均蓄積増加量 186万m³					H23～H27 年平均蓄積増加量 298万m³					
天然林蓄積	30,114	30,343	30,492	31,103	31,376	31,470	31,724	32,077	32,717	32,793	33,109
	H18～H22 年平均蓄積増加量 271万m³					H23～H27 年平均蓄積増加量 328万m³					
総計	36,381	38,330	37,019	37,961	38,306	38,667	39,147	39,796	40,784	41,028	41,797
	H18～H22 年平均蓄積増加量 457万m³					H23～H27 年平均蓄積増加量 626万m³					
伐採量	116	109	97	104	107	130	137	139	143	144	179 (※)
	H18～H22 年平均伐採量 107万m³					H23～H27 年平均伐採量 139万m³					

※H28年度における伐採量は森林計画における年平均伐採量。
 その他各年度の伐採量および資源蓄積量は国有林野事業統計書による。